

【巡回指導〈4〉】白河市立 東北中学校

日程：2019年 8月25日（日）

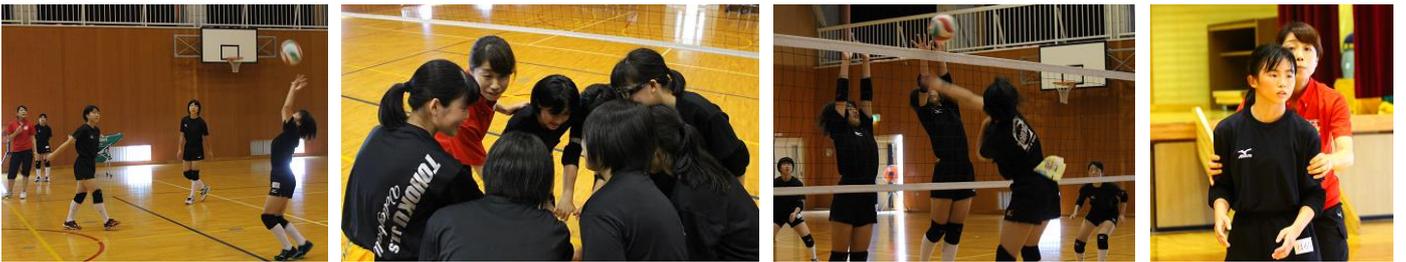
参加者：東北中学校（12名）/ 難波先生、江花先生

指導者：岡野弘子（元岡山シーガルズ）

同行者：事務局/高木副実行委員長、小色尚子



4回目の巡回指導は岡野コーチが指導しました。引退し、この日久しぶりにバレーボールに触る3年生と、新チームとなった1、2年生でラストの指導を行いました。2人1組となり、3つのボールを使ってパス回しをしました。縦や横に移動しながら、更にネットの下、上でのパスと、難易度を増していきます。意思の疎通の取り方、リズム感、ステップの大切さを伝えました。



3人1組となり、必ず1人1回ずつボールを触って相手コートに返すということを20回連続を目標に行いました。目標が達成せず、つなげるために何が必要か何度もチームで話し合いました。最後は92回連続し、はるかに目標を超えました。何をやるかを考える事も大切ですが、誰かの為に何が出来るか、自分が出来る役割は何かということを考えてプレーする事が大切だと岡野コーチから話がありました。最後は3年生が新チームと対決です。ポジションの取り方、ひとつひとつの動きを指導しながらゲームをしました。



ラスト式で岡野コーチより「結果は大事ですが、その過程も大切で、その積み重ねが財産となります。誰かが声を出すから自分には出さなくて良いのではなく、自分から声を出したり、みんなでやるということをもっと大切にしてください。何が自分たちに足りないのか、自分たちの強みは何か、それを見つけてボールをつなげる楽しさをもっと感じて欲しい、誰かのために何かできることを見つけて欲しいと思います」とエールが送られました。1年間大変お世話になりました！これからも皆さんを応援しています！！